

【現状・課題・目的】

- 1 列状間伐は、民有林でも実施されており抵抗感は少ない。
- 2 高性能林業機械の導入は徐々にではあるが進んできている。
- 3 搬出間伐を始めたのは最近であり、高性能林業機械の効率的な活用、使用に慣れていない。
- 4 コスト意識は高いとは言えない。

【これまでの取組や成果】

○取扱説明会の開催

- ・局署HPに専用サイトを設け、ソフトをダウンロードできるようにした。
- ・説明会后、参加者より「見て確認できる」「今後、使用し進捗状況を確認したい」などの意見あり。

○工程分析シートの改良

- ・工程別機械別功程表の各作業種毎の欄にそれぞれの労働生産性を表示し、一目で分かりやすくなるように改良した。

【平成29年度の取組結果・成果】

①現状を把握するため、アンケート調査を実施

<主な意見>

- ・工程別機械別功程等の分析結果を一読すれば、労働生産性が分かる。
- ・作業日報のデータを細かく分析できる。
- ・工程分析結果を数字で示すことで、現場作業における指導や助言に役立った。
- ・複数回使用し、作業仕組の再確認などにとっても役立った。

②各地域における工程管理システム活用実績を収集

- ・工程管理システムによる改善ポイントをまとめるため、工程管理プログラムへの入力データを収集した結果、次の事項が判明（今後、各地域へ紹介予定）。

【後志・胆振地区】

- ・工程別機械別功程から、作業種別の功程の掛かり増しの部分が判明。この工程を分散させた結果、生産性が向上した。

【渡島・檜山地区】

- ・作業日報を入力するだけで工程別機械別功程の欄に労働生産性が示され、自分なりの積算との対比に役立つこと。

③工程管理システムの普及推進

- ・各市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議出席者にパンフレットを配付。
- ・『機械化林業』へ寄稿（H29.7 No.764掲載）。
- ・『北方林業』へ寄稿（H30.4 掲載予定）。

④工程分析シート等のさらなる改良

- ・アンケート調査で「説明会に1回出席しただけでは、操作方法を忘れる」という意見があったため、今後、入力方法等の簡易な説明を付け加える予定。

【今後の取組で目指すところ】

工程管理システム活用による改善事例を収集

各地域の収集結果を参照しつつ、工程管理システムを使用し、生産性の向上を目指す



【今後の目標】

森林所有者等の森林整備の意欲向上を促進させる